

お客様へ

●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



誤った取り扱いをすると、人かけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



●点灯異常の際は電源を切る

異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落・けがの原因になります。



●清掃の際は必ず電源を切る

感電・破損の原因になります。



●可燃物を近づけたり、本製品の真下に熱源を置いたりしない
本製品を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。



●破損したものを使用しない

本製品が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落・けがの原因になります。



●分解や改造はしない

本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落・感電・変形・火災の原因になります。



●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災や感電の原因になります。

LED照明使用上の注意

- 本製品のLEDモジュール部分は交換できません。
- 200V電源を使用する場合は、両切りスイッチを使用してください。消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。
- 本製品の近くで他の機器のリモコン（リモートコントローラー）を操作した場合、誤動作することがあります。本製品と他の機器のリモコンを離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。

お手入れ方法

- 安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。
- 清掃する際は必ず電源を切り、照明が冷えたことを確認してから行ってください。
 - 本製品のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
 - 清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。その後洗剤が残らないように水拭きしてください。
 - シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

保証とアフターサービス

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間にについて

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは（通話料無料）
LED照明サポートコール **0800-111-5300**（受付時間）平日9:00～22:00、土・日・祝日9:00～12:00／13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは（通話料無料）
0800-111-9300（メールフォームにご記入のうえ送信してください）<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>



HW-C

施工説明書

取扱説明書 保管用

日本国内専用

電気工事必要

本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

高天井LED照明

シリーズ共通 IP67 重耐塩仕様

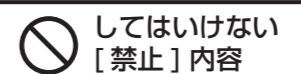
このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上の注意

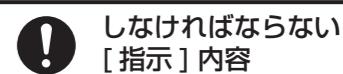
図記号の意味



注意を促す記号



してはいけない
[禁止] 内容

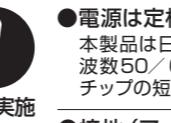


しなければならない
[指示] 内容

施工担当者様へ



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



●電源は定格電圧・定格周波数で使用する
本製品は日本国内のAC100～240V（電圧変動±6%以内）、周波数50／60Hz専用です。それ以外の電源で使用すると、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。

●接地（アース）工事を確実に行う
本製品には接地工事が必要です。入力電圧が150V以上300V以下のものはD種（第3種）接地工事を「電気設備技術基準」に準じて行ってください。接地工事が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。

●施工説明にしたがい確実に行う
施工は電気工事の有資格者が電気設備の技術基準・内規規定などの法令や条例にしたがって行ってください。施工が正しくないと、落・感電・火災の原因になります。

●本製品の質量に耐える場所に取り付ける
取り付け部の強度が十分でないと、落・感電や火災の原因になります。

●落下防止ワイヤーを使用する
本製品の設置には必ず落下防止ワイヤーを使用し、重さに十分耐えられる軽量な器具に固定してください。取り付けないと落下による重大な事故の原因になります。

●被照射物と1m以上離す
近すぎると照射物の変色・変形・火災の原因になります。



●破損している照明器具を取り付けない
感電・火災・落・けがの原因になります。

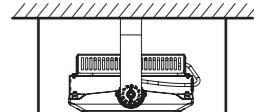
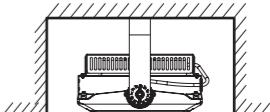
●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災や感電の原因になります。

●粉塵・オイルミスト・引火性ガスや虫の発生する場所には取り付けない
発熱・発煙・火災の原因になります。

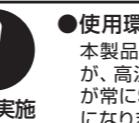
●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない
ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、本製品が過熱し、火災・感電・落・けがの原因になります。

●分解や改造はしない
本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落・感電・変形・火災の原因になります。

●本製品を密閉された場所に取り付けない
短寿命・火災の原因になります。



誤った取り扱いをすると、人かけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



●使用環境温度・湿度を守る
本製品は屋内・屋外兼用です。適正温度の範囲内で使用できますが、高温で使用すると火災の原因になるおそれがあります。湿度が常に90%RHを超える環境での使用は、絶縁不良や感電の原因になります。

●使用環境温度：-40℃～+45℃
●使用環境湿度：90%RH以下



●風速 60m/s を超える風を直接受ける場所や、経年で強度が低下する場所には取り付けない
60m/sを超える風を受けると落下するおそれがあります。また、経年使用により取り付け部の強度が低下することが想定される場所には、取り付けないでください。

●電源ユニットの口出線に力を加えない
口出線を持って本製品を運搬しないでください。断線や絶縁破壊、接触不良による発熱事故や故障の原因になります。

その他の注意 設置や取り扱いについての注意です。

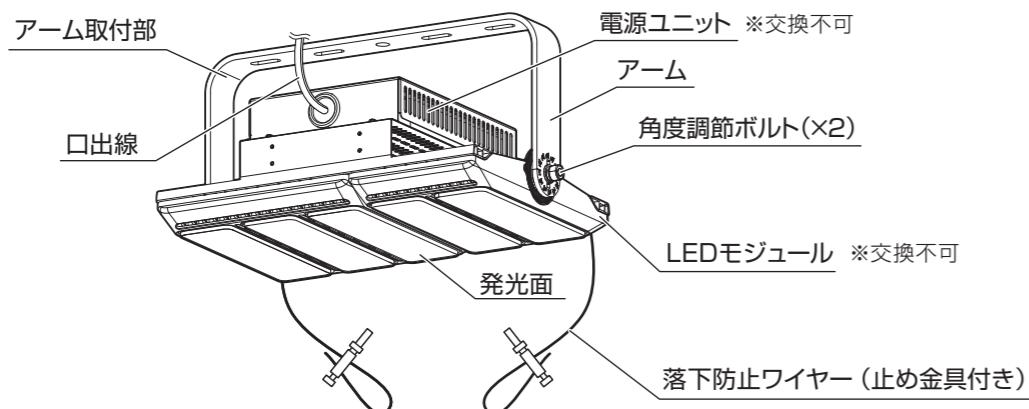
- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メキシコ工場などのように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光化学反応に影響を及ぼす場合があります。
- 点灯スイッチは、必ず非接地側（電圧側）に取り付けてください。接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。（接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。）
- 調光器（ライトコントローラー）は使用できません。故障や短寿命の原因になります。
- 本製品は水平天井以外には取り付けないでください。傾斜天井、壁などには取り付けできません。発熱により寿命が短くなったり落下したりする原因になります。

各部の名称

- 取り付ける前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
- 部品が不足している場合は、お買い上げ店またはサポートコールまでご連絡ください。

■器具

<図は300W(5灯)タイプの例>



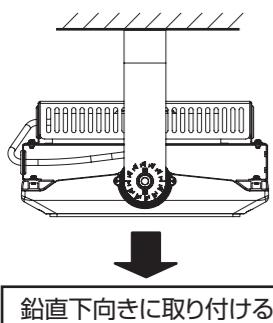
■取り付けと照射方向

※必ず発光面が鉛直下向きになるように取り付けてください。

●水平天井への取り付け

<基本設置状態>

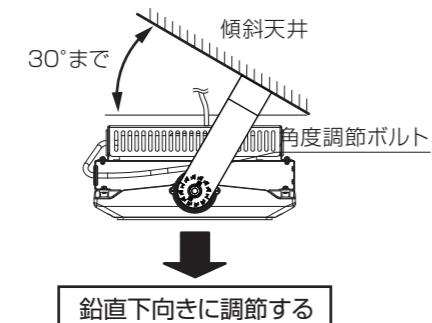
通常は下図の姿勢で取り付けてください。



鉛直下向きに取り付ける

●傾斜天井への取り付け

傾斜角度0~30°までの天井に取付可能です。
必ず角度調節ボルトで、発光面が鉛直下向きになるように調節してください。

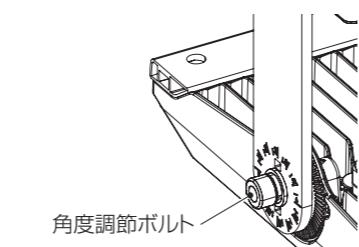


鉛直下向きに調節する

■角度の調節

※必ず落下防止ワイヤーを取り付けてから調節してください。

LEDモジュールを支えながら角度調節ボルト(2か所)をゆるめて、ゆっくり角度を調節してからボルトを締め付けてください。



仕様

■品番構成

凡例 C L 3 M - 120W - 60 - K50 - D - V2

LEDモジュール数	消費電力	1/2ビーム角	色温度(光源色)	調光方式	製品寸法*(W×D×H)(mm)	質量(kg)	
CL3M	3灯	120W 180W	60°	K50:5000K(昼白色) K40:4000K(白色)	無:非調光 -D:PWM制御	280×295×218	4.9 5.3
						7.5	
CL4M	4灯	160W 240W	90°	360×295×218	無:非調光 -D:PWM制御	7.7	
						9.5	
CL5M	5灯	200W 300W	110°	447×295×223	無:非調光 -D:PWM制御	9.8	
						13.0	
CL7M	7灯	280W		606×295×218	無:非調光 -D:PWM制御		

●使用電源: 定格電圧AC100~240V、定格周波数 50/60Hz

●LEDモジュール設計寿命: 60,000時間

●演色性: Ra75

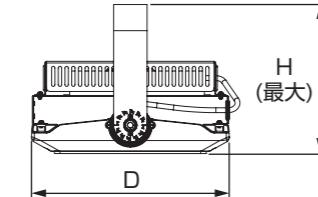
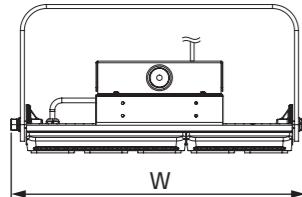
●調光: PWM制御方式

※LEDモジュール設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか、初期光束の70%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※製品寸法



落下防止ワイヤー: 約0.5m (3~4灯×1, 5~7灯×2)
口出線: 約1.5m

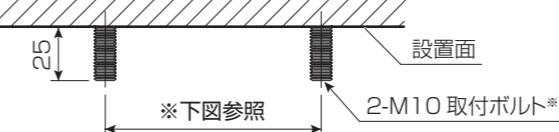
取り付けかた

●アームの取り付けは、ゆるみが生じないように確実に行なってください。

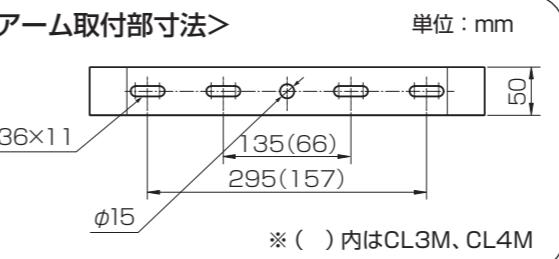
1 器具を取り付ける

- アーム取付部寸法を参照して、設置面に取付ボルトを設置する。

長穴2か所を使用する場合



<アーム取付部寸法>

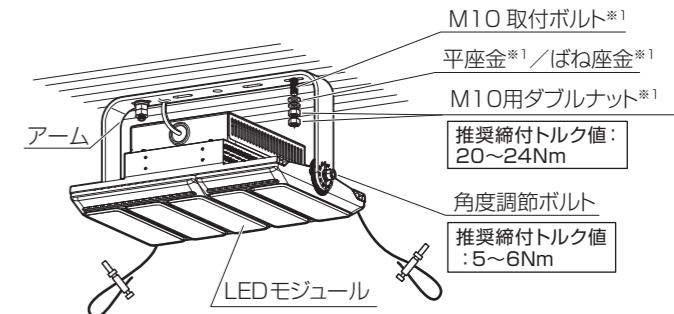


- 設置したボルトにアームを取り付ける。
アームは必ずダブルナットで固定する。



ナットの締め付けトルクが不足すると、ゆるみにより器具が脱落または落下して、重大な事故やけがの原因になります。

●水平天井への取り付け例(M10ボルト使用の場合)

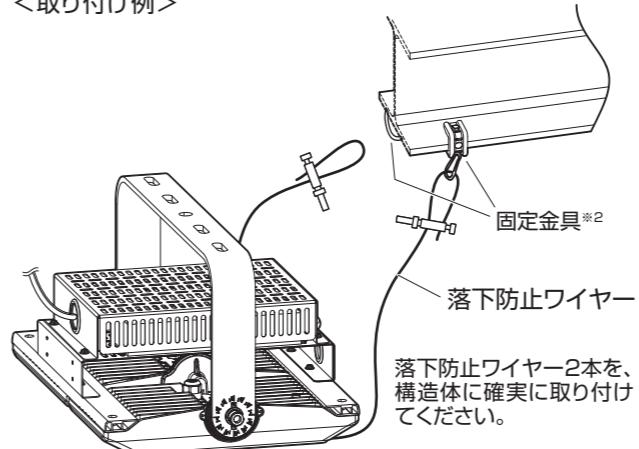


※1 取付ボルト/ナット/座金類を別途準備してください。

2 落下防止ワイヤーを取り付ける

本体の落下防止ワイヤーを、必ず荷重に耐えられる構造体に固定する。

<取り付け例>

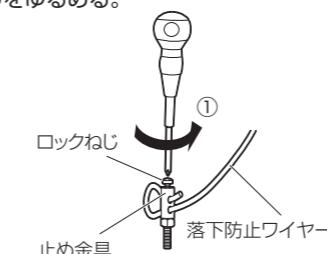


●器具を取り付けた状態で、落下防止ワイヤーにたるみがないように取り付けてください。
●正しく取り付けないと、落下により重大な事故やけがの原因になります。

<落下防止ワイヤーの長さ調節方法>

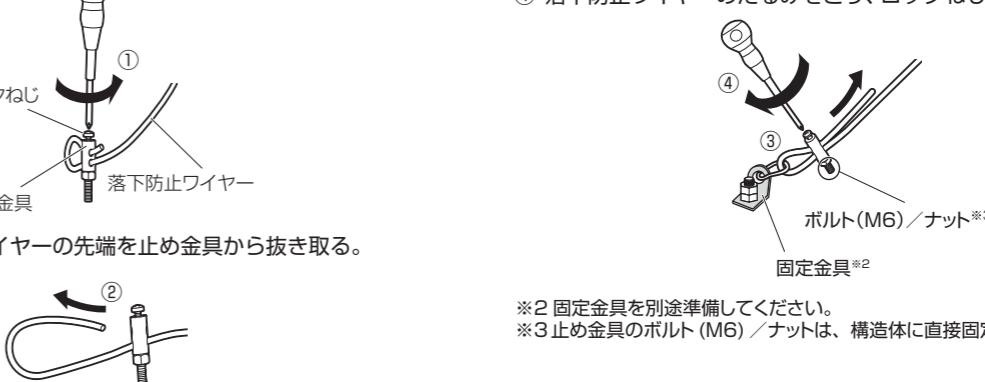
以下の手順で、本体直結の落下防止ワイヤーを適切な長さに調節して、落下防止ワイヤーが抜けないように、ロックねじを確実に締めてください。

- 落下防止ワイヤーに付属している止め金具のロックねじをゆるめる。



- 落下防止ワイヤーの先端を構造体のフックなどに通したあと、止め金具へ戻し通す。

- 落下防止ワイヤーのたるみをとり、ロックねじを確実に締める。



※2 固定金具を別途準備してください。
※3 止め金具のボルト(M6)/ナットは、構造体に直接固定することもできます。

3

電源線・アース線を接続する(2本)

- ①電源設備の技術基準省令第7条にしたがい、電源口出線の白線・黒線を電源線に接続する。



接続が不完全な場合、発熱・感電・火災の原因になります。

- ②電源口出線のアース線を使用して、D種(第三種)接地工事を確実に行う。



アース工事は電気設備の技術基準にしたがい、確実に行ってください。不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

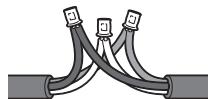
- ③各端子とシース部をケーブル絶縁被覆部から自己融着テープなどで防水処理を行う。その後、絶縁テープなどでそれぞれに絶縁処理を行う。



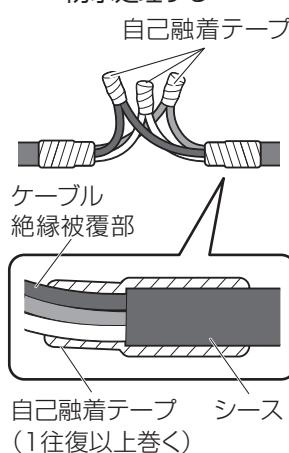
接続部、シース部に直接水がかかると、水分が毛細管現象により器具内部に侵入するおそれがあります。

- ④各端子を絶縁した後、電源線及び電源口出線のシース(外被)の部分から絶縁処理し、ポール内に入れ防水処理を確実に行う。

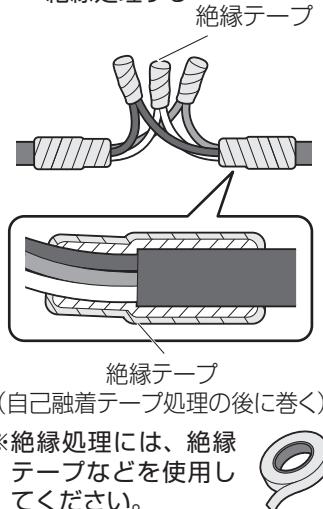
①② 端子を圧着する



③-1 端子とシースを防水処理する



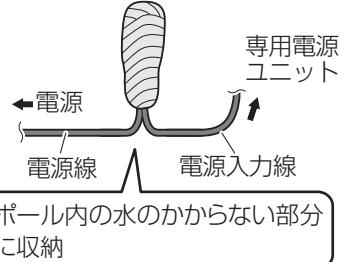
③-2 端子とシースを絶縁処理する



④-1 シースから絶縁処理する



④-2 ポール内に収納する



●結線後、絶縁・防水処理を確実に行う
処理が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因になります。

●必ず専用器具で圧着する
単線とより線の直接接続(ねじり接続など)はしないでください。
火災の原因になります。

4

PWM制御方式のみ 調光線を接続する(2本)

※調光器を接続しない場合も必ず下記の③の手順で防水・絶縁処理を行ってください。

- ①電源口出線の青白線をPWMユニット(屋外用)に接続する。

※調光信号用口出線には極性があります。必ず結線図通りに接続してください。



接続が不完全な場合、発熱・感電・火災の原因になります。

- ②各端子とシース部をケーブル絶縁被覆部から自己融着テープなどで防水処理を行う。その後、絶縁テープなどでそれぞれに絶縁処理を行う。

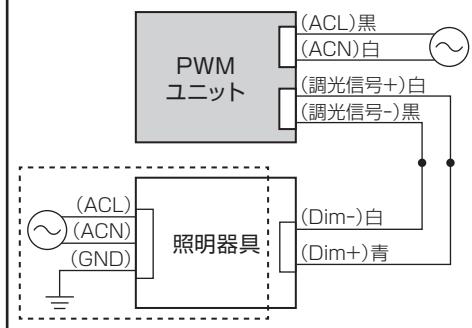


接続部、シース部に直接水がかかると、水分が毛細管現象により器具内部に侵入するおそれがあります。

- ③各端子を絶縁した後、電源線及び電源口出線のシース(外被)の部分から絶縁処理し、ポール内に入れ防水処理を確実に行う。

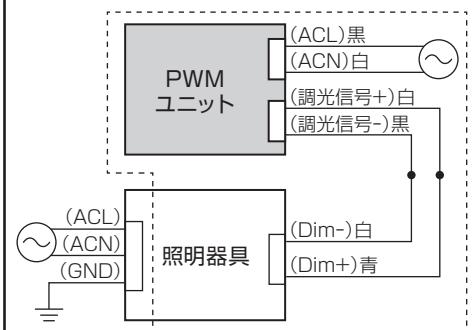
■配線図

※別売PWMユニットに接続する場合

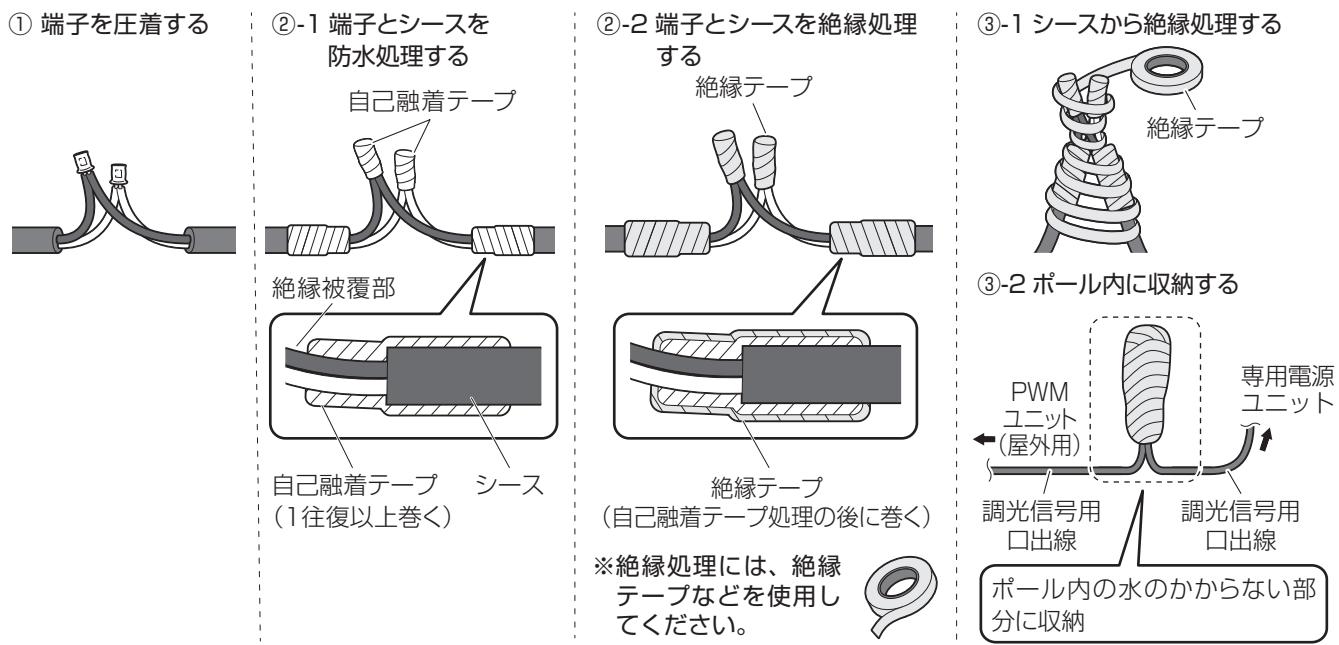


■配線図

※別売PWMユニットに接続する場合



4 つづき



- 結線後、絶縁・防水処理を確実に行う
処理が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因になります。
- 必ず専用器具で圧着する
単線とより線の直接接続(ねじり接続など)はしないでください。
火災の原因になります。

施工記録表

● 施工時に必ず記入し、お客様にお渡しください。

工事名				使用電源	
工事店名				使用電圧	
電話番号				ブレーカーNO.	
取付年月					